



4/20(水) 熊本へ浦添市消防より
～4/23(土) 救急隊3人を派遣

沖縄県より第2次出動隊として6隊 26 人、うち浦添市消防より救急隊3人を派遣しました。

熊本県消防学校を拠点とし、南阿蘇地域の救急要請が急増しており、管轄内の救急要請に出動するため中部消防署内でいつでも救急要請に対応できるよう待機し、出動しました。

また立野地区地滑り現場での行方不明者搜索活動、救急隊は後方支援活動も日没作業まで行われました。



5/15(日) クリーンデイIN浦添

浦添市内の各自治会で、午前 9 時から正午まで清掃活動が行われました。

この清掃活動は、一人一人が美化意識を持ち、周囲の住民や自治体とのネットワークづくりを目的としています。

多くの人が参加し、歩道の掃除や花園の手入れなどを行い、規模の大きな清掃となりました。

「家の周りをきれいにしたい」「周りの人と仲良くなりたい」という人は、次の機会から街をクリーンにしてみませんか？



4/25(月) てだこ市民大学入学式

てだこ市民大学とは、2 年の修学年数で、市民一人一人の学習の成果を「まちづくり」に活かせる社会の実現、学習を通してまちづくりに関わる市民の育成を目指す事業で、平成 20 年度から始まっています。

在校生代表の比嘉涼子さんは「てだこ市民大学ではいろいろなことが体験できます。どれも貴重な体験で多くの事を学びますので、皆さん頑張ってください」と新入生を応援していました。



5/17(火) つなぎあう手と手で福祉のまちづくり! をアピール

民生委員・児童委員の日出発式が市役所9階展望ロビーで行われました。活動強化週間では「広げよう 地域に根ざした 思いやり」をスローガンに、民生委員・児童委員の活動の重要性を広く周知するためのPR活動が全国的に展開されています。

出発式では、我部政義会長が「誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを目指すために、私たちの活動内容を市民に知ってもらいましょう」と力強くあいさつしました。出発式後は、高齢者宅3か所を訪問するなど、団員が各地域の人々にチラシを配りPR活動を行いました。



5/15(日) 不発弾処理作業により
国道58号線封鎖

浦添市牧港地内において発見されました不発弾1発（米国製5インチ艦砲弾）の安全化処理作業が行われ、同日午前11時頃に作業が完了しました。

不発弾の処理中は国道58号線（ホームセンターさくもと付近）が全面通行止めとなり、避難対象区域内への立ち入り禁止および交通規制を行うなど、大変ご迷惑をお掛けしました。安全確保のためご理解とご協力ありがとうございました。



5/2(月) 国勢調査で大きな成果が出ました!!

平成 27 年度に実施された国勢調査の集計結果（速報値）において、住民基本台帳上の人口を上回る結果を残し、市に多大なる貢献をしたとして、市長応接室で企画課統計係職員に対し職員表彰が行われました。

市長は「素晴らしい結果の背景には、必ず熱意や努力がある。今回の結果は、皆さんのがんばりがあってこそです」と職員に対し、称賛と労いの言葉をかけました。

企画課統計係の新垣力係長は、「今回の調査に臨んだ調査員、指導員の協力のおかげで結果を残すことが出来て良かった」と語りました。



5/9(月) 熊本に水道インフラ応援復旧のため派遣した水道部職員が帰任

熊本へ派遣した浦添市水道部職員 2 人が、5 日間の派遣期間を終えて帰任しました。派遣されていたのは、配水課長の真栄城 守邦さん（写真左）と同課技師の喜屋武 拓馬さん（写真右）。派遣先は熊本県阿蘇郡西原村。

真栄城課長と喜屋武さんは「短期間とはいえとても大変でした。しかし、被災された住民の皆さんはもっと大変な思いをしています。復旧応援するという立場でしたが、逆に住民の皆さんから「ありがとう」と声を掛けられ、励まされました」とエピソードを交えて現地の様子や復旧支援の報告を行いました。

